

ゆうこ・もりもり・元気・通信

NO. 2 5/20 「市民連合@新潟」共同代表 佐々木寛(広報・酔山 090-4923-0050)

投票日まで60日！

選挙戦スタート集会に250人

「市民連合@新潟」のスタート集会が5月7日、新潟市万代市民会館で開催され、「市民連合@新潟」のアピールへの賛同者・団体、及び野党共闘を待ちわびていた幅広い県民・市民が会場を埋めました。カンパ集約 136,263円 感謝です！

〈3人の方からのメッセージ〉

佐々木寛 共同代表挨拶

今の政権は「歴史と知性の軽視、ひいては国民を軽視」している。野党共闘の力でこれに立ち向かい、新しい政治を切り開こう。

今の政治は1930年代のドイツを想起せざるを得ない。一つ一つの動きは小さいが気が付くと取り戻せない時代となっている。最大の教訓は「初めに抵抗せよ」だ。これまでの選挙と違う選挙を、今までの自分のやり方に固執したら負ける。これまで話したことのない人と話そう。

60日しかない。何をしたらいいか。みんなで良く考えて、投票日まで駆け抜けよう！

市民連合（立憲デモクラシーの会） 中野 晃一

皆さんの後押しで野党共闘が新潟でも成立し、森ゆうこさんを無所属・野党統一候補として擁立するまでのこの間、大変長く困難な道のりだったことと思います。もちろん本当の戦いはこれからですが、これ自体ですでに歴史的な第一歩であり、これはまぎれもなく市民の皆さんの力なくしてはなしえなかった事です。今後さらに大きな広がりへと繋げて、政治を諦めてしまった層の投票率を上げることができたら、新潟から政治が大きく変わっていくと思います。お互いに市民の共闘を育てていきましょう。

市民連合 呼びかけ人 山口 二郎

この参議院選挙では、立憲主義と非立憲主義との戦い、文明と野蛮の戦いです。新潟でも市民と野党との大同団結によって安倍政治にノーという声を上げ、全国の戦いの先頭を走って下さるよう祈念しています。選挙選に向けて必ず応援に参ります。

安保関連法に反対するママの会・発起人西郷南海子

選挙を、変えましょう。わたしたちが、変えましょう！行かない選挙から、行く選挙へ。行くだけの選挙から、作る選挙へ。



共同代表 金子 修弁護士の「どうやって選挙に取り組むか」

参議院選挙はみんな2票持っています。2度楽しめる選挙です。

（一つは）、1人区の選挙区選挙では「戦争法廃止の森さんが勝つと自動的に戦争法推進の自民党候補が落ちて、安倍政権に2倍の打撃を与えることができます」。まさにオセロゲームで、一人の勝利が2倍になって返ってきます。

（二つは）、比例選挙は自由に政党を選べます。心のバランスを取って、抵抗なく投票できます。「アベにお灸をすえたい」と考えている自民党支持者にも気軽に「選挙区は森ゆうこさんに」と声をかけましょう。

アベの暴走を許したら子どもたちの未来が危ない。国民が主人公、みんなが団結して、石にかじりついても皆さんと一緒に闘い抜き、勝たせていただきたい。最後までよろしくお願いします。



選挙区1人区は、とっともお得な選挙区
一粒で二度おいしい
楽しく、大胆に、選挙にいそしみましょう。

市民連合と森候補との政策協定書



5/7のスタート集会では壇上で「市民連合@新潟」の佐々木共同代表と野党統一の森ゆうこ候補との「政策協定書」の調印が参加者からの大きな拍手の中で行われ、固い握手を交わしました。

- (1) 現行「安全保障関連法」の廃止
- (2) 立憲主義の回復（集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を含む）
- (3) 個人の尊厳を擁護する政治の実現（無所属での立候補、当選後の議員活動）

4 森裕子は、前項の立候補に当たり、無所属で立候補することを確約する。当選後の議員活動においても、当面は無所属を貫くものとし、定期的に市民連合@新潟が主催する会合で報告を行い、県民に説明責任を果たすものとする。

（重要課題に関する取組姿勢）

5 森裕子は、有権者に対し、憲法改正問題、原子力発電のあり方を含むエネルギー政策、TPP、消費税を含む税制問題、社会保障政策その他のわが国及び新潟県民にとっての重要課題に関しても、個人の尊厳、平和主義、貧困と格差の是正などの見地から、真摯かつ積極的に取り組むことを約束する。

（参院選における最大限の選挙協力）

（衆院選における選挙協力協議）

2016年5月7日

市民連合@新潟 共同代表 佐々木 寛
立候補予定者 森 裕子

私たちは、2016年参議院選挙の新潟選挙区において、森裕子氏を野党統一候補として擁立することを合意し、「安部政権の打倒を目指す」等の2016年2月19日の5野党党首会談での合意事項をも踏まえ、共通政策や同時選挙の選挙協力等について下記のとおり協定する。

（参院選における野党統一候補の擁立）

1 本協定の締結当事者は、2016年参議院選挙の新潟県選挙区において、森裕子を野党統一候補として推薦するものとし、他に既に自党に所属する者が立候補を表明している場合はこれを取下げます。

（共通政策及び選挙公約）

2 本協定の締結当事者たる各政党は、2016年参議院選挙新潟県選挙区における選挙協力に当たり、次の3項目を共通政策とすることを相互に確認する。森裕子は、2016年参議院選挙の新潟選挙区に立候補するに当たり、本協定の締結当事者に対し、次の3項目を選挙公約に掲げることを確約する。

県内に野党共闘の初夏の風

5月9日（月）、森候補は佐渡入りし、佐渡の野党代表（民進党、社民党、共産党）と支援団体、大勢の市民が集り、島内8カ所で街頭演説を行いました。この佐渡からも、アベ政治を許さず、立憲主義・民主主義・平和主義を取り戻す共同の輪が大きく広がっていきましょう。終了後、各団体で「オール佐渡 平和と共生」の連絡調整会を立ち上げる方向も確認されました。

5月14日（土）、「市民連合・上越 5・14大集会」（「戦争法NO！」上越実行委員会）が300人で開催されました。馬場弁護士（実行委員長）、社民党・小山代表、共産党・上野地区委員長、民進党・梅谷6区総支部長が連帯挨拶。森候補は「戦争法廃止で人生をかけて頑張っている人達の思いを受け止め、なにがなんでも勝ち抜きたい」と訴えました。

5月15日（日）、柏崎市で「未来を創るきみへ」と題して、シールズ本間信和さん、森候補、ママの会@柏崎の晴香さんとの3人でトークイベントが50人の参加でありました。今まで不安だったけど声を上げられなかったママが参加し、また輪が繋がりました。森さんは子どもたちの未来を自分が創るのだと話されて、選挙に向けての取組みなどを訴えました。



共同代表の決意②

「支持政党なし」層の8割でイイ勝負 金子 修

最近の全国世論調査での政党支持率（%）は、自民37、民進9、共産5、公明4、おおさか維新4、社民2、その他1、支持政党なし36、だそうです。北海道5区補欠選挙で「支持政党あり」の8～9割はその政党に投票したとのこと。そこで、政党支持率に0.9を掛けると、自民+公明=37、民進+共産+社民+その他=15。そして「支持政党なし」を2対8とすると44対44となります。つまり「支持政党なし」層の8割もらってようやく対等の勝負となる。全国と新潟の違いはあるにしても、「市民連合@新潟」の活動目標は“無党派は全部いただき！”です。